中外鑛業（持越）（金山）株式會社の暴擧を訴ふ！

今や世は諸物價が暴騰し、國民生活は極度に窮迫を告げるに至り全國到る處に賃銀値上げ要求の運動が、全國的に澎湃として捲き起り、輿論亦是を支持しつゝあるのである。然も一方産金事業は、ゴールドラッシュ時代と言はれる程の好況時代に遭遇しながら、是は又何たる事ぞ!!

中外鑛業株式會社は、吾々の平和的解決手段を一蹴し、今日迄會社のため忠々として働いて來た從業員二百七十七名を然も貧弱なる手當をもつて、時代に反逆せる大量解雇を斷行したのであります。この非社會的な會社幹部の暴擧に對し、やむなく端を發した今回の持越鑛山の爭議につき、私共組合並に爭議團はこゝにこの爭議の眞相を發表し、世の識者に訴へ、全國民の心からなる御批判と御聲援を乞はんとするものであります。

會社の事業概況

持越鑛山は、靜岡縣伊豆半島天城山麓にあり、中外鑛業株式會社所有鑛山の內有力なる鑛山にして昭和七年四月、現在の退ケ島溫泉旅館落合樓主、足立綴治氏より百參拾萬圓にて買上げ、現在資本金七百八十萬圓、當山從業員約千名を使用し、東京市麹町區富士見町に住む原安三郎氏を社長に出口雄三氏を專務に、高原丈夫氏を總務部長に、槻地氏を本社監務課長に、鳥井某氏を持越鑛業所長に任じて、本社を東京丸ビル及び海上ビルに置く一大産金事業會社であります。

昨年（昭和十一年）の生産情況は、坑內出鑛量拾壹萬七千九百八拾八・一噸で、その含有量は百萬分の五・八で、總額約參百萬圓（現政府買上値段）及拾參圓八拾錢と見て）その他銀の生産を合せれば十一年度生産額は四百五拾萬圓以上に達して居るのであります。

而して十一年度の株主配當を見るに、一割二分で、半期約六十餘萬圓に上つて居ります。

落合樓主足立氏より買收後聞く處に依れば、約七八拾萬圓位投資したと云はれるのであるが、昨年六月五百數拾萬圓で中外鑛業に合併せしめた程に、現在持越鑛業所の利潤は多大な額に上つてゐるのであります。

坑夫長屋

持越鑛業所は如何なる待遇を從業員になしてゐたか？

以上の如き好況を示してゐる事業狀態にもかゝわらず、他方働く從業員に對しては如何に感謝し如何に遇してゐたかと云ふに、作業は受取作業にかゝわらず、その受取單價を從業員に明示せず、單價は「アテガヒブチ」と言はれる程に、どんなに働いても〳〵單價は上ることに「眼ン合ひこのない巧妙な搾取方法で酷使してゐたのである。又一方會社は配給所を設け、生活必需品を坑夫に配給したのであるが、之が價格は會社が一時に大量的に購入するのであるから、相當安く配給出來るにもかゝわらず、すべて市價よりも高い價で賣りつけられると云ふ有樣で、從業員にとつては二重の生活苦が加重されてゐたのであります。

其他政府より補給される健康保險金が、半ケ年も本人に渡されず時には會社幹部のために一旅館に入質されるなどの事實が澤山あるのであります。又從業員が一番不安を感ずるのは、一度び職場で怪我をせんか、殆んど會社幹部は文句をつけ脅かしつけて、一文の手當すら支給されないのみか、逆に退山を餘儀なくせしめられてゐたのでありました。まれに手當が出されたとしても、それは滿足に本人の手に渡されぬやうなカラクリがあるなど、まこと從業員を使用すること奴隸の如く、會社幹部は壓制的な態度を以て從業員に君臨して居たのでありました。

遂に全山の從業員憤起す

右の如く、華やかな産金事業の裏面に於けるこの暴力的壓制的な會社幹部の態度に對して永い間忍

（上）檻屍ぶらなを枕（中）坑澤大の鑛件事スガ（下）族家つまに口坑てけかを盜の縫一

忍して來た全從業員は遂に憤起、昨年五月十日待遇改善並びに勞働者の人格權復活を要求して起ち上つたのであります。

我が總同盟は、この深山に起ち上つた實情をよく調査し、之を社會的合理的に解決せんと熱心に努力した結果、數日の中に縣特高課の斡旋により、會社並びに從業員に大した間違ひもなく圓滿解決を

其後に於ける我が總同盟と會社當局者の態度

爾來今日迄滿一ケ年、我が總同盟は會社との間に種々交涉を重ねて來たのでありますが、其都度會社はどんな態度で我々に接して來たかと云ひますと、先づ第一、折角特高課の努力で漸く爭議が解決を見たその直後、勞働組合と締結せる契約を反古紙同樣にせんとして、その解決條件を無視し、再び爭議の種蒔くが如き背信的態度に出でたり、又或る時は假團據鑛課長、並びに鈴木會計課長、中村勞務課長等が先頭になり、事務を放り出して、連日に亘り各濕泉の旅館に從業員を呼び出し、勞働組合切崩しのため、下劣なる手段等を講じて日も無き狀態が續いたのであります。そしてこの不正陰謀が遂に露見するや、全從業員の非常なる激昂を買ひ、產業內部に何等意義なくして破壞的な紛爭をかもしたること幾度か、徒らに全從業員の感情を刺激して、平地に波瀾を捲き起すが如き事件を今日迄幾度か計畫して來たのであります。

我が總同盟としては、何回折衝して見ても、そのあとから〳〵やつて來る會社の陰險且つ非德義的な態度に、會社勞務課のヌエ的存在に、眞に忍ぶべからざる不滿を痛感しながらも、常に產業平和のために正直、能ふ限りの熱心誠實を以て努力を拂ひ、事態を紛糾せしめないやうに、勞働者並びに會社當局者に向つて、我が總同盟の精神を語り、その理解を希つて來たのでありました。

事實その間如何なる問題が起つて來ても、あらゆる犧牲を忍んで今日迄來て居ることは、會社當局の心ある者には、よく納得が行つてゐると、我々は自負してゐる位であります。過般のガス災害事件の際も亦然りでありました。

四十八名の尊き人柱が、三月十七日朝、魔の大深坑より搬出されるや、今は無き父の、子の、仲間の變り果てた哀れなる姿を眼前にした全從業員は、無理矢理に入坑せしめ遂にこの大慘事を生んだ會社當事者の無謀と非道を呪らして、斷じて死體は引取らないと叫び、全く全山あげて號泣したあの悲慘の中にあつて、成程死體の搬出作業に決死的努力を拂つた陸軍並に警察に對しては感謝しつゝも、坑夫の感情としては會社側何人の意見も聞かばこそ、悲憤と混亂の極に達したのであります。

この時、我が總同盟としては、總同盟の根本的大理想即ち產業報國の信念と、併せてその實行のみが、從來の誤れる會社の態度に、深く悟らせるものがあると信じて、短時間に兎にも角にもあの混亂を收拾して、遺族を調査し、悔めて着々と死體の始末をつけたのでありました。それは眞に獻身的實行をもつて當つたのでありました。從つて我々は從來の如き會社のぬえ的勞働政策に對して、その根本精神に一段の進歩を强く〳〵期待したのであります。

從つて、あの當時の解決もすべて會社の誠意を信じて一切を圓滿に處理すべく終始一貫盡力したのでありました。斯如て何時如何なる會社の態度にも、常に隱忍し不滿を殺しつゝ、「先づ御互びに根本精神の了解に」と、誠意を盡し時をかけて、唯やがて我々の腹の理解される日を期待し今日まで待ち來つたのであります。作業能率も昨年は開山以來の好成績を上げて來てゐるのであります。

我が誠意通ぜずか遂に會社公約を無視して戰端を開く

そもそも、事實解決をつけて來たのに、我々は何事も事前に平和的に解決せんと力を

（裏面に續く）